

2015年3月期 第3四半期決算の概要

2015年2月5日

IBJ
LEASING **興銀リース株式会社**

本資料には現時点での将来の予測数値が含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的とするものではありません。

連結損益

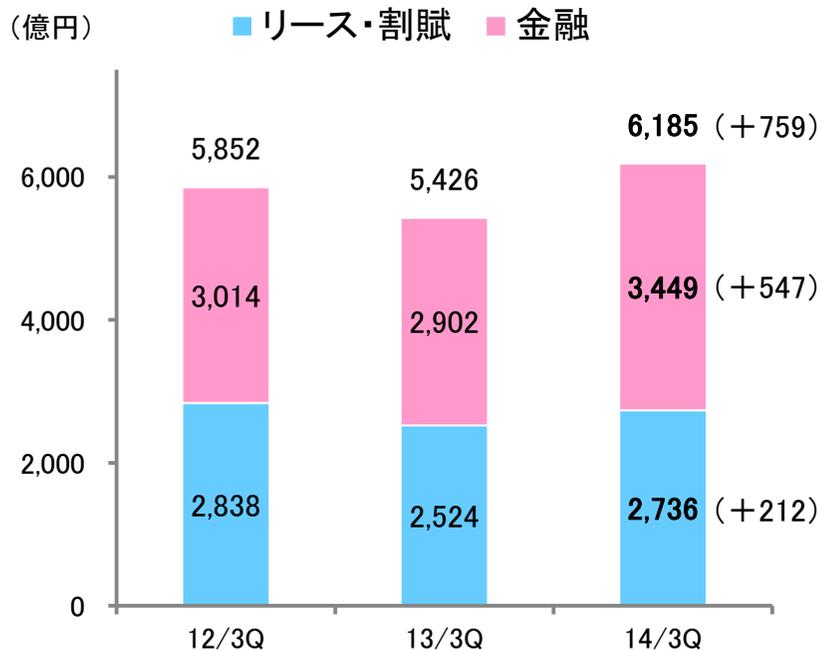
- 第3四半期業績は通期予想に対して進捗率75%超と巡航速度で進捗
- 営業資産の着実な増加によりトップラインを引上げ金利低下による影響を軽減
- 信用コストの発生は低位に留まり引続き戻入益計上

連結P/L (億円)	12年度 3Q	13年度 3Q①	14年度 3Q②	増減額 ②-①	増減率 ②/①	通期予想 <進捗率>
売上高	2,617	2,660	2,551	▲109	▲4%	<72%> 3,550
差引利益	336	322	310	▲12	▲4%	—
(資金原価)	(49)	(49)	(47)	(▲2)	(▲3%)	—
売上総利益	287	274	263	▲11	▲4%	—
(一般経費)	(140)	(141)	(142)	(+1)	(+1%)	—
営業利益	113	149	128	▲21	▲14%	<77%> 167
経常利益	118	153	134	▲19	▲12%	<77%> 174
(償却前経常利益)	(151)	(136)	(127)	(▲9)	(▲6%)	—
(信用コスト)	(33)	(▲17)	(▲7)	(+10)	(+57%)	—
四半期純利益	69	94	83	▲11	▲12%	<75%> 110
営業資産残高	12,679	12,991	13,730	+739	+6%	—

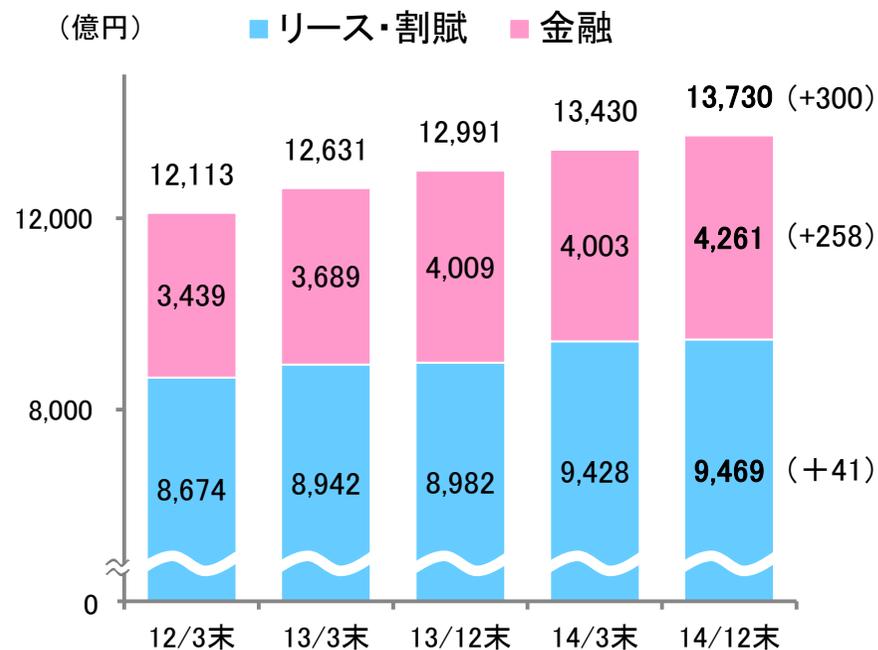
営業状況

- 【契約実行高】は顧客開拓と連携営業の拡充が奏功し前年同期比+14%
— 「リース・割賦」: 同+8%、「金融」: 同+19%
- 【営業資産残高】も着実に伸長し、14/3末比+2%、前年同期末からは+6%
— 15/3期末の目標残高1兆4,000億円の達成に向けて順調な積上がり

契約実行高



営業資産残高



リース・割賦の状況

- マーケット全体としては消費増税の影響が残る中、【契約実行高】は前年同期比+8%
 - 「産業・工作機械」は大手メーカーの大規模投資を捕捉、その他の設備案件も堅調
 - 注力分野の内需関連向けに「商業・サービス業用機器」、「その他」は引続き好調
 - 「その他」は流通・小売向けの不動産リースを中心に実績を伸ばし前期比倍増

機種別契約実行高

(億円)	12年度 3Q	13年度 3Q	14年度 3Q	増減額(率)
産業・工作機械	918	510	596	+ 86 (+17%)
情報通信機器	585	620	453	▲167 (▲27%)
輸送用機器	319	251	318	+67 (+27%)
土木建設機械	295	418	421	+3 (+1%)
医療機器	204	196	178	▲18 (▲9%)
商業・サービス業用機器	191	208	261	+53 (+26%)
事務用機器	94	111	76	▲35 (▲32%)
その他	231	210	433	+223 (+106%)
不動産リース	43	49	258	+209 (+424%)
合計	2,838	2,524	2,736	+212 (+8%)

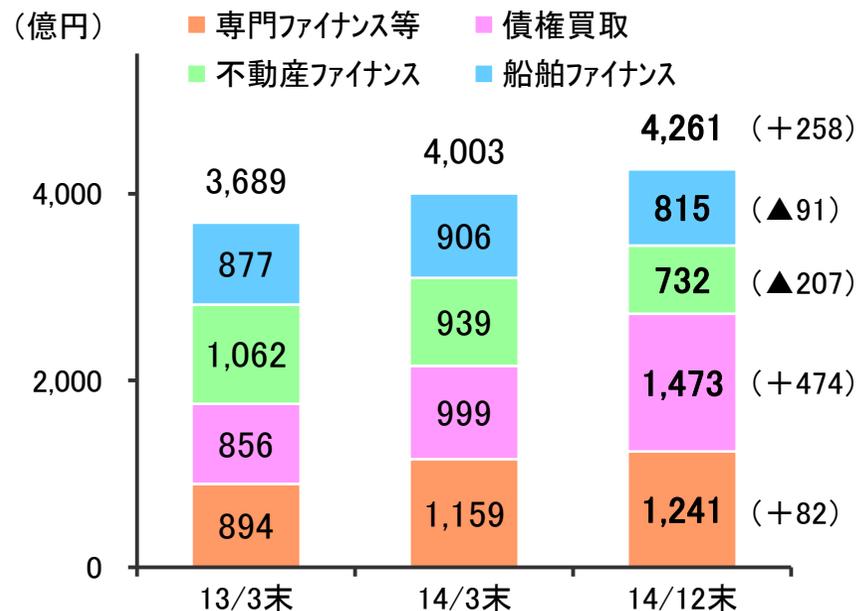
金融分野の状況

- 「債権買取」、「専門ファイナンス」の取組実績の増加が、実行高・残高全体共伸びを牽引
- 「専門ファイナンス」では、航空機や海外シローンなど分散を図りつつ高収益案件を積極的に捕捉
 - 航空機ローンの実行高は前期比倍増、残高は前期末比+155億円の277億円
 - リースを加えた航空機ビジネス全体の残高は358億円(前期末比+163億円)

契約実行高

(億円)	12年度 3Q	13年度 3Q	14年度 3Q	増減額(率)
債権買取	2,208	2,363	2,770	+ 407 (+17%)
専門ファイナンス等	315	308	472	+164 (+53%)
不動産ファイナンス	339	156	114	▲42 (▲27%)
船舶ファイナンス	152	75	93	+18 (+25%)
合計	3,014	2,902	3,449	+547 (+19%)

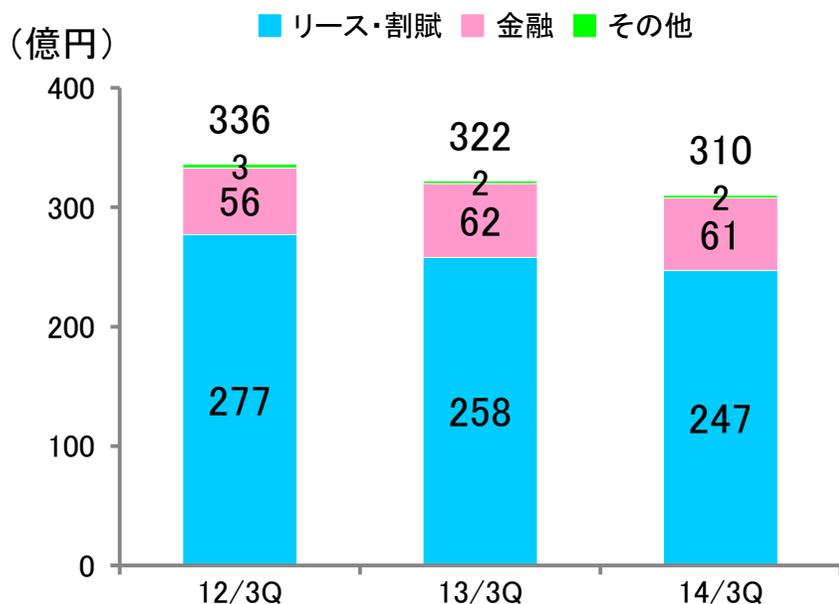
営業資産残高



収益状況

- 差引利益は減少も、利回り低下の影響を営業資産の増加により打返し
— 「金融」は前期並みを確保、「リース・割賦」も減少幅を縮小
- 資産の入替え要因により売上総利益率は低下
— 引続き新規契約のスプレッドを改善しながら着実に資産残高を伸長

差引利益



(注) 差引利益…資金原価控除前の売上総利益

運用利回り

	12年度 通期	13年度 通期	14年度 3Q	増減
差引利益率	3.58%	3.30%	3.05%	▲0.25pt
資金原価率	0.53%	0.49%	0.46%	▲0.03pt
売上総利益率	3.05%	2.81%	2.59%	▲0.22pt
営業資産 (平均残高、億円)	12,372	13,031	13,580	+549

(注) 14年度3Qの各率は年換算値

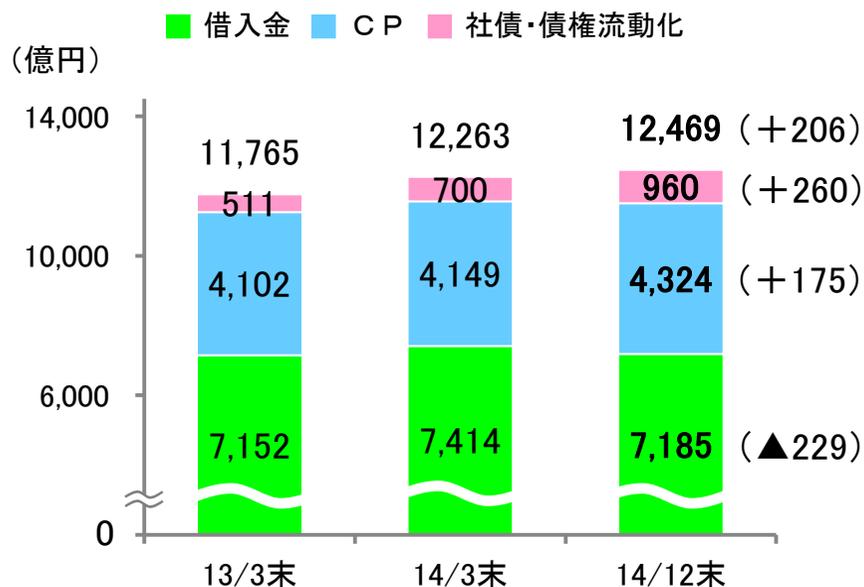
売上総利益率 = 売上総利益 ÷ 営業資産の平均残高

資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産の平均残高

負債・純資産

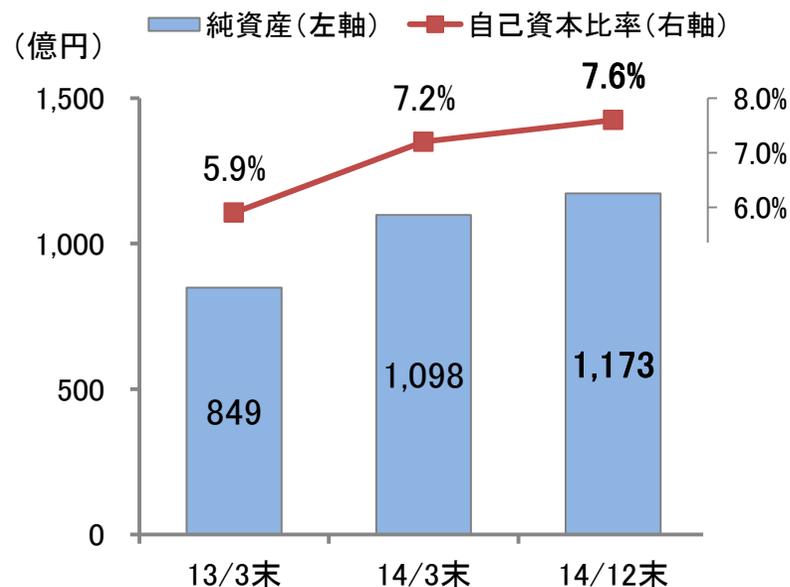
- 営業資産増に伴い有利子負債は増加するも市場調達へシフトし資金原価は減少
 — 市場調達比率は前期末比3pt上昇し42%、資金原価は前年同期比▲2億円の47億円
- 純資産は純利益の積上げ等により前期末比75億円増の1,173億円

有利子負債残高



(億円)	13/3Q	14/3Q
資金原価	49	47

純資産・自己資本比率



通期予想

- 今年度の目標達成に向け基本戦略を着実に推進するとともに、来期以降の持続的な成長の実現を目指し、引き続き良質なアセットの積上げに注力
- 年間配当金は、実施済みの中間配当金28円と期末配当金(予定)28円を合わせ1株当たり56円(2円増)と13期連続増配を予定

(億円)	2013年度 (実績)①	2014年度 (予想)②		増減額 ②-①	増減率 ②/①	
		3Q実績	進捗率			
売上高	3,548	3,550	2,551	72%	+2	+0%
営業利益	167	167	128	77%	0	+0%
経常利益	174	174	134	77%	0	+0%
当期純利益	105	110	83	75%	+5	+4%
年間配当金 (配当性向)	54円 (20.4%)	56円 (21.7%)	+2円			
中間配当金	26円	(実施済) 28円	+2円			
期末配当金	28円	(予定) 28円	—			